

湖北

新型コロナウイルス禍で観客の集中を避けるため、長浜・北びわ湖大花火大会が9月11～16日の6日間にわたって長浜市の豊公園で分散開催された。観客は湖面を染めながら打ち上げられる鮮やかな花火に酔いしれた。

分散開催というものの、打ち上げ場所が目の前にある豊公園や周辺の岸壁、路上などは連日家族連れや友達同士などでにぎわった。中には6日間全て見に来たという人も



6日間連続で分散開催された長浜・北びわ湖大花火大会

長浜

6日連続で夜空を彩る北びわ湖大花火大会

おり、とりわけ最終日の16日には多くの人が集まった。

【長浜通信部・長谷川隆広】

華やかに21チーム躍動あっぱれ祭りによさこい

長浜

色とりどりの衣装をまとった県内外のチームが、よさこい踊りを披露する「長浜あざいあっぱれ祭り」が9月3日、長浜市大依町の浅井文化スポーツ公園で開かれた。新型コロナウイルス禍のため3年ぶりの開催で、延べ約3万人（実行委発表）の観客が訪れた。



北びわ湖のよさこい踊りを披露した北海道大学「緑のバレー」

21回目となる今年は21チームが参加し、路上やステージで磨き上げた踊りを競った。2006年から友情出演している北海道大学「緑」のOBメンバーは「この舞台で踊るのを首を長くして待っていた」と、力いっぱい踊りを披露。途中でふんどし姿になる熱演で、会場から大きな拍手が送られた。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

環境にやさしい素材のスプーン 平和堂が店頭配布を切り替え



平和堂（本社・彦根市）はスーパー店頭で無料配布してきたプラスチックスプーンを、環境に優しい新素材のものに切り替えている。カネカ（本社・東京都港区）が開発したバイオポリマー「Green Planet」を使用し、平和堂系列の166店舗で今夏から順次導入している。

プラスチックフォークは在庫がなくなり次第、配布をやめるが、割りばしは引き続き提供する。これらの対策で年間約6458キログラムのプラスチック削減につながるという。カネカのホームページなどによると、Green Planetは100%植物由来の原料から作られるポリマー。プラスチックと同じ機能を持つ一方、自然界の微生物によって分解され、最終的には二酸化炭素と水になる。土中だけでなく、これまで難しかった海水の中でも生分解される。

【彦根通信部・伊藤信司】

滋賀大生が市議会で研修 議長から地方自治学ぶ

彦根



彦根市議会研修で滋賀大生が参加

滋賀大学の学生が8月上旬（9月下旬、彦根市議会）で初めての「議員インターンシップ」に取り組んだ。滋賀大と市議会は昨年夏に連携協定を締結。これまでに市議会でのデータサイエンス研修会、学生と議員の意見交換会など

も催してきた。8月18日には学生7人が彦根市役所5階の議場に出席。講師役の赤井康彦議長がプロジェクターを使い、地方自治制度を基礎から解説した。「日本では市長と市議会の二元代表制となっています」「議会は執行部をチェックし、当初予算案を認めないこともあり、ます」などと指摘し、学生が熱心に聴き入っていた。

【彦根通信部・伊藤信司】